

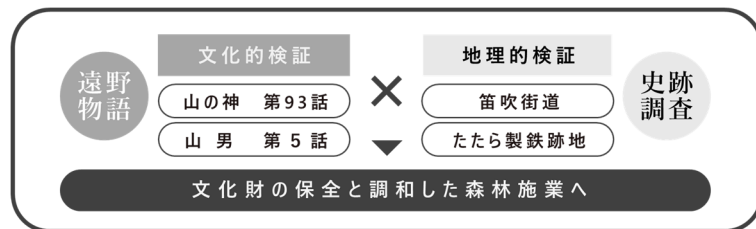
地形データを用いた史跡の検証

～遠野物語をたずねて～

東北森林管理局 三陸中部森林管理署 主任事務管理官 ○佐々木 慎平
森林情報管理官 西山 実咲
森林技術指導官 松本 直輝
三八上北森林管理署 首席森林官 高橋 博孝
(元 三陸中部森林管理署)

1 課題を取り上げた背景

旧橋野村（現岩手県釜石市）は江戸時代、遠野と三陸沿岸を結ぶ笛吹街道の要衝として人馬の往来が盛んでした。また、砂鉄を豊富に含む地質であること、森林資源が豊富であることから、製鉄の適地として、古来よりたたら製鉄が広く行われていたとされています。幕末から明治期には近代製鉄の先駆けとして橋野鉄鉱山が操業し、平成 27 年「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つとして、世界遺産に登録されました。構成資産を含む周辺国有林は「橋野鉄鉱山郷土の森」として、釜石市と連携を図りながら、世界遺産及び景観の保全を最優先とした管理経営を行うこととしています。本研究では、当該地域で森林施業が計画されていることから、文化的価値の保全と調和した森林施業を行うために、柳田國男「遠野物語」（93 話「山の神」5 話「山男」）の背景を探ることで、地理的及び文化的検証を行いました。



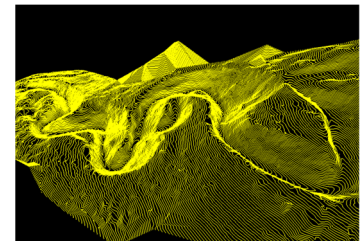
研究の目的

2 取組の経過

笛吹街道は廃道化しており、たたら製鉄については、資料がほとんどない状況でした。このため、文献調査、現地調査及び地域住民への聞き取りにより、笛吹街道及びたたら製鉄跡地と思われる箇所を確認し、GPS 機器及び森林 3 次元計測システムを用いて地形を分析しました。また、取得データを岩手県及び釜石市と共有し、今後の保全方法の検討を行いました。

3 実行結果

笛吹街道について、深い切通しでつくられたつづら折りの道形や塚、牛ころばしと呼ばれる急坂など、特徴的な地形をデータ化・可視化したことで、山の神が出現したと思われる地点をおおよそ特定することができました。また、今回の取組により、笛吹街道は新たに埋蔵文化財に指定されました。



取得した地形データ

たたら製鉄跡地と思われる箇所について、地形分析結果を岩手県及び釜石市と共有しました。現地確認では、人工的に改変された地形と、土製の送風管やスラグ等が出土したことから製鉄関連遺跡であることが確認されました。当該地域で、近代製鉄以前に行われたたたら製鉄遺跡の発見は、製鉄の歴史的観点から非常に重要であり、今後、埋蔵文化財に指定される予定です。

4 結論

「遠野物語」は実在した人物が特定の場所で体験した話がもととなった「伝承」であり、この「伝承」は、地域の歴史を紐解く糸口となります。山男の出現した笛吹街道周辺に、複数のたたら製鉄跡地があることを踏まえると、山男は製鉄に関係する者だったのではないかと考えられます。今後も、関係機関と連携を図りながら、当該地域の文化的価値の保全と調和した森林施業を進めていきます。